

# 生活科学習活動案

授業者  
学年・学級  
場 所

箱根 正斉  
1年1組  
1年1組

## 1 単元名 「みんなのわくわくむらにしよう」

### 2 研究テーマとの関連

生活科部では、個が探究する姿を目指している。個が探究する姿とは、「わくわく・やってみたくらいから個の思いがふくらみ、願いの実現に向けて専心して活動し、自己実現を更新する姿」と捉えている。自らの思いを膨らませ、その個が生活をよりよくしたいという願いをもち、自らの生活経験とつなげて考え、生活科の見方・考え方をはたらかせることでよりよい生活に向けて実現しようとする姿へ繋がる。こうした姿は、身近な事象に関心をもち、その個なりに探究し、新しい価値を創造するために必要となると考える。

### 3 授業づくりについて

本学級の子どもたちは、1学期初めて行った小学校の散歩で「裏庭で遊んでみたい」という思いをもち活動が始まった。子供たちは、朝休みや業間、放課後など自分なりに遊びこみ、楽しむ様子が見られる。はじめは、単純な遊びだったが、遊びを繰り返す中で、秘密基地をつくったり、木登りをしたり、草や花でお店屋さんを開いたりするなど変化が見られるようになった。子供たちは、季節によって自分なりに自然と関わったり仲間と協働したりして遊びを創り出す姿が見られている。

本単元で扱う材は、裏庭である。裏庭で遊ぶ活動を通して、季節の変化に気付くことができる。裏庭は季節によってその表情が変わる。春は、シロツメグサやたんぽぽが咲き、梅雨になると水たまりができたり、たくさん生き物が活発に動き出したりするなど、季節を感じ、その時々によって遊びを変化させていくことで、季節に対する気付きを生むことができる。またそのときどきの遊びを通して仲間と専心して活動する姿からは、自らの学校生活をより楽しく豊かなものにも期待できる。幼稚園や、保育園の自由保育の経験を生かし、小学校という新しい環境、自然でもその材の特性を生かし新しい仲間との関わりが生まれ、生活をより彩り豊かなものにする。一年を通して、仲間と専心して遊ぶ経験か

ら仲間とのつながりを感じ、自分の活動の価値や学びを自覚し、自己の成長を実感することにつながる。裏庭は、こうした自分自身への気付きを生み、自立して探究する個の育成が期待できる材である。

活動については、個でやりたいことを見つけ、自らが主体的に動き出し探究に向かう姿を生みたいと考える。そのため以下の3点を工夫し実践に取り組む。1つ目は、個でやりたいことが出るまで待つことである。2つ目は、子供の求めに応じた学習環境を準備することである。子供のこうしたいという思いが出てきた際に、個の求めに応じて、子供と教師が協働して学習環境を変化させる。子供の思いがふくらみ、より楽しい遊びを仲間と生み出し、生活を豊かにしたいという願いの実現を支える。3つ目は、協働的に学ぶ「ききあう」時間を設定することである。活動前に今考えていることをききあうことで、仲間と自分の活動との関係で考え、自分の遊びがよりよいものとなるような協働の場としたい。さらに、きき合う場を通して裏庭の自分が没頭する遊びについて考えたり、次にこうしたいという思いがふくらんだりして、個の探究が加速する契機となるようにする。誰をどのように取り上げて仲間との関係から、きき合いを創出するか吟味する。こうした学びの相互作用が生み出すように工夫することによって、季節への変化や、これまで自分の行ってきた活動に対する手応えや価値、仲間と活動することの良さを実感し個の自己実現ができるようにしたい。

本時では、授業の始めに「ききあう」時間を設定する。前回、鬼ごっこをしていた□さんは、木の棒を持って振り回していた。休み時間にも棒を持ってタッチ鬼ごっこや戦いごっこをして遊んでいる姿が見られた。ごっこ遊びをする姿を動画で全体に共有することでその棒を使って新たな遊びが展開されることを期待する。棒を持つ□さんのことを「棒を振り回すと危ない」と感じている仲間もいる。いろいろな視点から木の棒を使った遊びが構想できるようにきき合いを行い、□さんが探究する契機となる時間としたい。

4 10月2日(水)1校時の展開

(1) 目標 (小学校)

○裏庭で遊んだ活動について話したりきいたりする活動を通して、個の思いを実現させることができるように自らの知識や経験を生かして話し合ったりききあったりしながら考え対象に関わることができる。

(思考力・判断力・表現力)

(2) 展開

子どもの学習活動	教師の働きかけ	☆評価の視点となる子どもの姿
<p><b>みんなのわくわくむらのはなしをしよう</b></p>		
<p>1. 裏庭の話をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【□さん】</b> □さんの次の活動が立ち上がるように動画でごっこ遊びを提示し、今考えている遊びを全体に語る。</p> <p><b>【☆さん】</b> 毎回、活動の冒頭は鬼ごっこをして遊ぶ☆さんを指名する。鬼ごっこをもっと楽しい遊びにできないか、きき合う。</p> </div> <p>2. 裏庭で活動する。</p> <p>3. 今日の活動について振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に遊ぶ姿から今日の活動の見通しをもつ。□さんの動画を共有するか、第一発言者として指名し、自分の思いを語り、裏庭でやりたいことが立ち上がるような支援の場としたい。</li> <li>・全体できき合う際は、□さんの発言につながるように、木の棒でどんなことができそうか、きき合うようにする。また発言をきく仲間は、それに対して自分がどう感じ、何をしたいか考え見つけ直す契機としたい。</li> <li>・第2発言者として☆さんを指名したい。その際には、鬼ごっこの良さが語れるように☆さんの内面を引き出すように支えたい。きき合う中でもっと楽しく遊ぶためにはどうすればいいか自分の体験をもとに語れるようにする。☆さんが思いを語ることが難しい場合は、○さんや◎さんと意見をつなぎながら、よりよい遊びの構想が語れる場となるようにする。</li> <li>・子供の中から、裏庭で活動したいという思いの高まりを生み、裏庭で遊ぶようにする。子供がそろそろ活動したいと切り出したタイミングで裏庭に移動し、遊ぶようにする。</li> <li>・仲間とききあったことをもとに自分がやりたいことや仲間と遊びたいことを見つけて遊び、遊びに専心する個の姿を引き出せるようにする。教師も子供といっしょに遊び、活動に専心して取り組めるように支援する。</li> <li>・活動の際には、□さんの棒をもとに広がる遊び、☆さんの工夫された鬼ごっこの活動に関わり、思いがふくらみ個でやりたいことが見付き専心できるように見取り実現できるように支えたい。</li> <li>・今日の活動について、国語「うらにわにつきをかこう」の単元と合科的に実施する。振り返りの際に絵や文字で振り返り、自分の思いが表現できるようにする。</li> </ul>	<p>☆自分のやりたいことを見つけて専心して活動することができる。</p>

(3) 新たな価値の創造に挑戦する子どもの姿の具体

- ・仲間と協働的に話し合い、ききあう姿から自分の活動の楽しさや価値、また裏庭に対する思いをふくらませる姿。
- ・仲間と協働的に話し合い、ききあう姿からわくわくむらにするために専心して活動し、自己実現に向かう姿。

## 5 本時の展開について

※本時の展開は、前時の活動や前日までの子供の姿をもとに構想しますので当日配布させていただきます。

※当日は、10：00～11：00（60分）で授業を実施します。  
よろしく願いいたします。